2014 年 8 月 29 日

トラック　バス　タクシー事業者向け

富士通製デジタルタコグラフ/ドライブレコーダー直結型アルコール検知器『ALC-Mobile デジタコ連動』発売のお知らせ

飲酒運転ゼロにむけ先進的な取り組みをする東海電子株式会社（本社：静岡県富士市 代表：杉本　一成）は、この度、富士通製デジタルタコグラフ/ドライブレコーダーに接続して使用できるアルコール検知器『ALC-Mobile デジタコ連動』を発売致します。
アルコール検知結果を運転日報作成ソフト、クラウドシステムとも連携させることができます。

記

1.『ALC-Mobile デジタコ連動』開発、販売の背景

2011 年 5 月に施行されたアルコール検知器の義務化をきっかけに、遠隔地での始業・終業及び中間点呼においてのアルコールチェックがより厳格になってきています。
貨物自動車運送事業　輸送安全規則の解釈の通達（平成 26 年 3 月 4 日）によれば、電話点呼を実施する際のアルコール検知器の使用義務について以下の決まりがあります。

『対面でなく電話その他の方法で点呼をする場合には、運転者に携帯型アルコール検知器を携行させ、又は自動車に設置されているアルコール検知器を使用させ、及び当該アルコール検知器の測定結果を電話その他の方法（通信機能を有し、又は携帯電話等通信機器と接続するアルコール検知器を用いる場合にあっては、当該測定結果を営業所に電送させる方法を含む。）で報告させることにより行うものとする』

上記のように、2011年から事業所のみならず、事業所以外（遠隔地）でも、アルコール検知器を使用することが義務付けられましたが、3年経過した現在でもプロドライバーによる飲酒運転事案が上がってきている報告だけで年間126件（平成25年度）あります。

『アルコール検知器使用の義務付けや飲酒運転等に対する処分基準の強化等により、飲酒運転に係る違反件数は着実に減少（平成 20 年度：287 件　平成 25 年度：126 件）上記取組や飲酒運転の厳罰化等により違反件数は減少しているものの、いまだ飲酒運転が発生している現状を踏まえ、飲酒常習者の更正プログラムの導入や先進的な IT 機器を活用した遠隔地アルコールチェックの実効性向上等の飲酒運転撲滅に向けた対策強化の検討が必要』

（別紙１　事業用自動車総合安全プラン2009　フォローアップ会議資料　参照）

また、2014 年 3 月に国土交通省は、運行記録計の装着義務づけ範囲の拡大を決めました。2015 年 4 月から、車両総重量 7 トン以上の新車の事業用車両には、運行記録計の装着が義務付けられます。
つまり、『車両総重量 7 トン以上で、1 泊 2 日以上の運行の場合、運行記録計装着とアルコール測定ができる環境を整備していないと、路上を走れないことになります。(2015 年 4 月以降)
以上の背景から、この度当社では、富士通製デジタコグラフ/ドライブレコーダーと直結するアルコール検知器を運輸運送事業者様向けに提供することと致しました。

２．接続イメージ

【アルコール検知器とデジタコ／ドラレコ機器は専用ケーブルで接続します】

３．アルコール検知器と接続できる富士通製デジタルタコグラフ/ドライブレコーダー

富士通製デジタコ/ドラレコ対応機種一覧（2014 年 8 月時点）

メーカー	型名	仕様	機器の外観
富士通 （トランストロン）	DTS-CI	カードレス ３Ｇ通信モジュール搭載	
富士通 （トランストロン）	DTS-CID	ドラレコ搭載 カードレス ３Ｇ通信モジュール	

製品詳細は、メーカーリンクを参照ください

http://www.transtron.com/products/dts-c1.html

http://www.transtron.com/products/dts-c1d.html

４．製品仕様（アルコール検知器）

項目	仕様
測定方式	呼気中アルコール濃度測定方式
センサー部	燃料電池センサー
表示単位	mg/L
測定結果	7 セグ LED４桁表示 / 富士通製 DTS-C1/CID へのデータ送信
測定範囲	0.000～1.000mg/L（検出範囲：0.050～1.000mg/L）
使用回数制限	3,000 回
吹き込み方式	専用マウスピース
充電時間	標準添付品 AC アダプター使用で最大 9 時間
充電時測定回数	満充電で最大 100 回
校正	年 1 回 もしくは 3,000 回測定毎
付属品	専用マウスピース 1 本/AC アダプター１個/シガーソケットケーブル１本/デジタコ接続用ケーブル１本/セミハードケース１個、取扱説明書１冊

５．販売価格・サービス開始時期等

【価格メニュー】

内容	価格（税抜）	備考
ALC-Mobile（DTL セット）	89,000 円	アルコール検知器、AC アダプタ 専用ケース、接続ケーブル等付属品含む
年間保守校正契約（DTL セット）	10,000 円	機器サポート・校正に関する 年間保守校正契約の締結が必要

６．販売開始時期

受注開始時期：2014 年 9 月中旬	**出荷開始：2014 年 10 月初旬予定**

★★本件に関するお問い合わせ先、資料請求先★★

東海電子株式会社　東京事業所

〒190-0012 東京都立川市曙町 2-34-13 オリンピック第 3 ビル 203

TEL:042-526-0905 /FAX:042-526-0906

e-mail:info@tokai-denshi.co.jp URL：http://www.tokai-denshi.co.jp

平成２６年3月２６日

トラックへの運行記録計の装備義務範囲の拡大等について

自動車局

１．背景

平成２３年１１月より「トラックにおける運行記録計の装着義務付け対象の拡大のための検討会」において、装着義務付け対象の拡大及びデジタコの装着義務化に関して検討を重ねてきた。

検討の結果、現行、運行記録計の装備を義務付けている車両総重量８トン以上の大型トラックに加え、車両総重量７トンクラスのカテゴリーにおいても、死亡事故や重傷・軽傷事故が多発、長距離・長時間輸送も比較的多い状況にあることが改めて確認されたことから、交通事故削減の観点から一層の重点的な安全対策を行うべく、運行記録計の装備義務付け拡大を行うこととしたい。また、技術の急速な発展、ニーズの高度化、更なるコスト削減の要請等を踏まえ、次世代の運行記録計のあり方についても検討を行うこととしたい。

２．措置方針

運行記録計の装備義務付け対象の拡大と普及環境の整備等に関する以下の取組方針を「ロードマップ」として示しつつ、所要の措置を講じる。

（１） 第１ステップ【運行記録計の装備義務付け拡大】（平成２６年度）

更なる交通事故削減のため、大型車と並び事故率の高い、車両総重量７～８トン（最大積載量４～５トン）の事業用貨物自動車に、運行記録計の装備を義務付ける。

〇義務付け機器：　アナログ式又はデジタル式の運行記録計
〇公布：平成２６年度中のできる限り早期
〇施行：平成２７年４月以降：新車購入に適用
　予定　平成２８年４月以降：その他の車両は順次適用

（２） 第２ステップ【次世代運行記録計についての検討】（平成２６･27 年度）

技術の急速な発展、運行管理に対するニーズの高度化、更なるコスト削減の要請等を踏まえ、平成２６年度より、今後求められる運行管理・支援機能を統合・拡充した「次世代型運行記録計」の実用化・普及加速に向けた検討を行う。

（３）第３ステップ【次世代運行記録計の普及促進】（平成２８年度以降）

上記の状況を見つつ、バス、タクシー等を含め、将来の「次世代型運行記録計」の普及促進を図る。

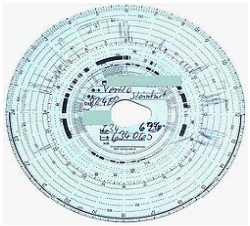
運行記録計の普及・義務化ロードマップ

第3ステップ　H28年度以降
次世代運行記録計の装備拡大に向けた検討

第2ステップ　H27年度内
次世代運行記録計についての検討
（基本機能の確立、制度・技術上の課題解決、先導実証の重点支援等、普及環境整備）

第1ステップ　H26年度内
運行記録計の装備義務付け拡大
（車両総重量7～8トン（最大積載量4～5トン）の事業用貨物自動車）

デジタル式運行記録計



アナログ式運行記録計

記録情報が高精度化。
きめ細やかな指導や
労務管理の負担軽減が可能に。

次世代型運行記録計
（スマートタコグラフ（仮称））

**今後必要な新機能を実現しつつ、
更なる進化とコストダウンを。**

＜デジタコからの追加機能（主なもの）＞

瞬間加速度、燃費等の計測・記録と運転支援機能（EMS機能の統合）※1	IC運転免許証の認証、運転者単位での運行管理徹底※1
ドライブレコーダーとの連携 ※1	遠隔地でのリアルタイム運行管理・支援※1
センサーやASVとの連携で急な疾患や居眠りを検知し自動ブレーキ、自動通報※2	実効性の高いIT点呼、アルコールチェック※2
健康・体調管理／増進※2（食事・運動・睡眠管理サポート）	健康診断や適性診断データの一元管理、フォローアップ※2
ビックデータを活用した対策分析、事業者評価制 ※2	ビッグデータによるマーケティング、荷受・配達の効率化、各種機能の一元化

※黄枠（※1）は想定される法定基本機能、
濃い青枠（※2）は普及が期待される安全機能（オプション）

運行管理の基本３機能
（速度、走行時間、走行距離）

トランストロン営業　　東海電子様確認用

運 転 日 報

TYPE A-6　　PAGE：1/1

運行日付：2014/08/04 12:10　　ID-6013

印刷：2014/08/19 11:25:01

始業時刻：
終業時刻：

出庫時刻：2014/08/04 12:10　1200.0km
帰庫時刻：2014/08/04 13:10　1200.0km
稼動時間：1:00
実車状態：0:00　0.0km
空車状態：1:00　0.0km
走行状態：0:00　0.0km

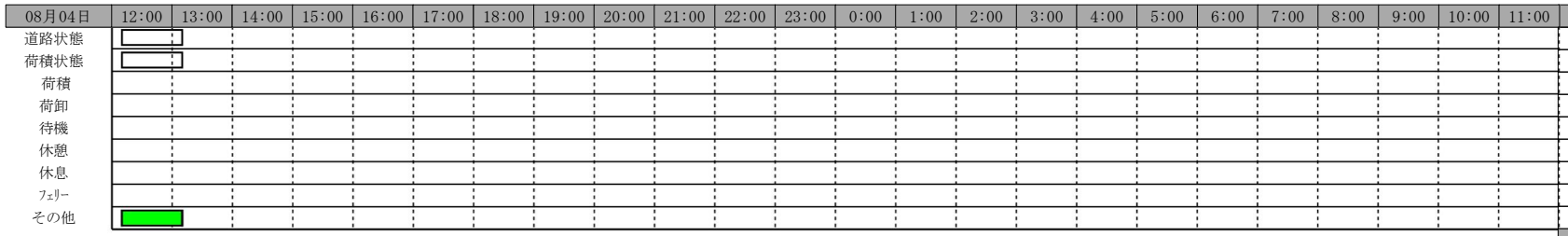
所　属　：無所属　(00000000)
乗務員名：テスト乗務員　(00000001)
同乗者名：
車両名称：　(00003000)

給油（L）		オイル（L）		通行料		その他費用	
自社		自社		現金		駐車料	
他社		他社		ＥＴＣ		旅費	
その他		その他		回数券		修理費	
				カード		その他	
合計		合計		合計		合計	

項	作業	到着	出発	場所	品 名	個数	t 数	走行距離	積状態
1	出庫		12:10						
2	帰庫	13:10						0.0	

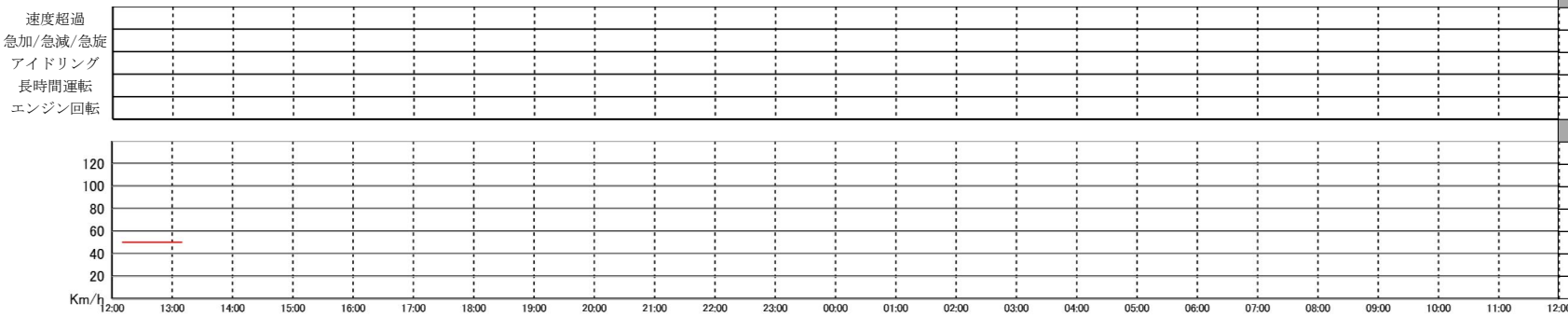
項	作業	到着	出発	場所	品 名	個数	t 数	走行距離	積状態

作業



時間	距離 km
0:00:00	0.0
0:00:00	
0:00:00	
0:00:00	
0:00:00	
0:00:00	
0:00:00	
1:00:00	

運転情報



時間	回数	減点
0:00:00	0	0
	0	0
0:00:00	0	0
0:00:00	0	0
0:00:00	0	0

道路区分	最高	減点

日 常 点 検		
ブレーキ	踏みしろ	○
	液量	○
	空気圧	○
	排気音	○
	駐車レバー	○
タイヤ	亀裂	○
	磨耗	○
	溝の深さ	○
	空気圧	○
	取付けの状態	○
原動力	冷却水	○
	ファン・ベルト	○
	エンジン・オイル	○
	かかり具合	○
	低速/加速状態	○
その他	バッテリ液量	○
	灯火装置	○
	ウォッシャ液量	○
	ワイパー	○
	エア・タンク	○
	前日運行の異状	○

有料道路

評価	得点
A	100

【燃費】　給油無し

アルコール測定	
2014/08/04 11:51	
OK	0.000 mg/L
2014/08/04 17:20	
OK	0.000 mg/L

これまでは ➡ 携帯電話でアルコールチェック結果を送信

これからは

富士通製 通信デジタコ 連動タイプ

発売開始

デジタコが通信!!

データは
富士通クラウドにて
一括管理

インターネットで
リアルタイム
確認可能！

通信デジタコ + **ALC-Mobile** で

より質の高い **記録管理** と **飲酒運転対策** を！

製品に関するお問合せは

東海電子株式会社 東京営業所
〒141-0031 東京都品川区西五反田８丁目１番地２ 平森ビル５階
Tel.03-6417-9725 Fax.03-6417-9726